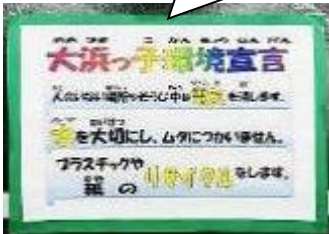
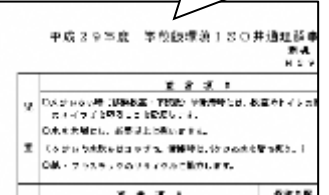
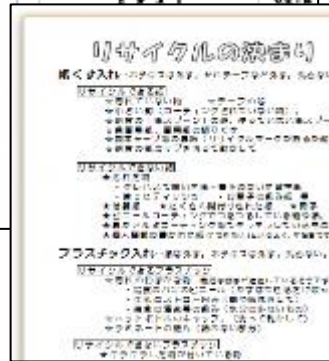

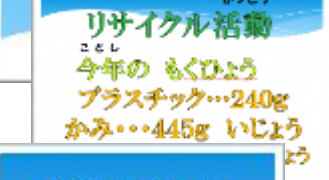



平成30年度 学校版環境ISOへの取組 概要報告

管内	市町村	学校名
玉名	玉名市	玉名市立大浜小学校

1 取組の概要

項目	活動の様子（写真）	取組の実際
宣言	<p>「大浜っ子環境宣言」掲示</p>  <p>職員会議での周知徹底</p>  	<p>《児童宣言》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人がいない時（移動教室・下校後）や清掃時には、教室やトイレの照明や電気のスイッチを切ることを徹底します。 ○水を大切にし、必要以上に使いません。（うがいや水飲みはコップで。清掃時はバケツの水を皆で使う。） ○紙・プラスチックのリサイクルに協力します。 <p>《教職員宣言》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○環境ISOを念頭に置いた指導に努めます。 ○両面印刷や裏紙の再利用を徹底し、紙の消費量を減少するようにします。シュレッダーを活用して守秘義務ゴミも、こまめにリサイクルをします。 ○照明のスイッチをこまめに切ります。（無駄な電力消費をなくすとともに、待機電流0へ） ○校内の美化に努めます。 ○環境保全関連のコンクールやイベントへの参加に努めます。 ○冷暖房機器の使用を節約し、冷房摂氏28度・暖房摂氏18度に設定します。（送風機をまわし、空気を循環させる。） ○放課後、エアコンやプロジェクターの切り忘れをなくします。 ○玉名市の分別表に基づいたゴミの分別を徹底します。 <p>《数値目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎無言掃除調べ全校で90%以上達成 ◎電気・水・紙の消費量を昨年度実績より減らす。 ◎各学級の紙切れとプラスチックの回収を昨年度実績以上（各学級月目標 紙…445g以上 プラスチック…240g以上テープの巻心120個以上）を目指す。
行動	<p>児童集会にて環境・美化委員会による環境宣言についての説明のプレゼン（パワーポイント）と劇</p>   	<p>(1) 環境宣言の周知徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ○呼びかけ <ul style="list-style-type: none"> ・職員会議で年度当初に提案し、共通理解を図った。 ○宣言の掲示 <ul style="list-style-type: none"> ・児童用に低・高学年用を制作。全教室に掲示した。 <p>(2) 環境・美化委員会の取り組み</p> <p>①節電・節水の呼びかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「節電・節水の約束」による具体的な行動の提案。 <ul style="list-style-type: none"> ・手洗い場、トイレ、教室のスイッチ横に掲示した。 <p>《節電の約束》 ①移動教室（無人の場所） ②掃除中 ③下校後の「3つの時間」は電気を消す。</p> <p>《節水の約束》 ①水道の水は鉛筆の細さで ②コップやバケツを使う ③蛇口はしっかり締める。</p> <p>②紙・プラスチックの回収と分別</p> <ul style="list-style-type: none"> ○リサイクルボックスの修理・増設

行動

美化委員会の児童による紙・プラスチックの回収・計測・記録の様子



テープの巻心の集計



集まったテープの巻き芯 159個



年末大そうじ大作戦

月・日	12日(水)	13日(木)	14日(金)	18日(火)
そうじする場所	ドア・窓の周り	登校時(学級・廊下・給食)	登校時 上と中	つくえの周り
0-2点				
0-1点				

年末大掃除大作戦のチェックシート



「リサイクル調べ」結果と達成状況の報告掲示

自然物や廃材を利用した「子どもまつり」



○紙・プラスチックの分別・計測

- ・毎月、委員会の児童が回収し、異物付着や混入がないか分別状況を確認し、回収量を計測している。

③テープの巻心回収

- ニチバンの「ECOプロジェクト」に参加。巻心(使用済み粘着テープ)の段ボールへの再生と、その利益によるCO₂削減のためのマングローブの植樹活動支援を行う取組。今年も年度当初から回収箱を設置するとともに家庭にも学級通信等で呼びかけ協力をお願いした。

④地域や家庭に向けての啓発

- 運動会において、環境・美化委員会の日ごろの活動紹介とごみの持ち帰り・分別についての呼びかけを行った。

⑤無言掃除の推進(校舎・校庭の美化作業)

- 「無言掃除5つの心」の周知徹底
 - ・年度当初の職員会議で「無言掃除5つの心」と「掃除の進め方・用具」について提案し共通理解を図った。
 - ・5月の児童集会で「無言掃除5つの心」と「掃除の進め方」についての劇を行い、全校児童に周知を図った。
 - ・無言掃除開始前と終了後に掃除のグループごとに「5つの心」についてのその日の目標を決め「ふりかえり」も行っている。
- 「無言掃除調べ」の実施
 - ・毎月、第3週に無言掃除調べを実施。点検表を各学級に配布し、給食の時間に各学級をまわり、前日の結果を聞いてコメントを述べ、励ましながら取り組んだ。毎日、放送でも結果を放送した。1週間通して80%以上・90%以上達成した学級は給食時の放送で全校生徒に報告し賞状を渡した。また、「無言掃除5つの心」を意識できるように、毎月一つを重点項目として示し、意識できていたかについても聞くようにした。

○「大そうじ大作戦」の実施

- ・長期休業前に普段は掃除が行き届かない場所(給食台の側面、机、ドアの溝等)をピックアップし、点検表を作成。取り組む日を決めて計画的に清掃するようにした。美化委員会で点検、評価し、最終日までに全項目合格できるように励ました。

(3) 保健委員会の取り組み

- 地域の「エコライフ大浜」から毎月EM菌をいただき、トイレの清掃時に週1回EM菌を散布している。

(4) 飼育・栽培委員会の取り組み

- 休日の飼育・水やり当番を高学年の輪番制で行っている。
- 縦割り班で季節に合わせた花壇の植え替え、草取り等を行い、校内の緑化を図っている。
- ウサギの餌は、家庭から出る野菜くずを提供してもらえようように給食時の放送で呼びかけを行っている。

(5) 給食委員会の取り組み

行動

段ボール
と自然物
で作った
壁掛け



蛇が谷公園
での
「秋の宝物」
探し



環境センターでの講義

PTA と高学年児童による
プラスチック・ペットボトル
新聞紙の資源回収



PTA による不要品のバザー



学校整備ボランティア (PTA)



老社会による薩摩芋の栽培体験



○残菜調べによるゴミ減量の取り組み。

○給食の牛乳パックのリサイクル

・毎日の牛乳パックの片付けの点検。

・牛乳パックのリサイクル数の報告、再生紙トイレット
ペーパーの紹介と各学級への配布。

(6) 各学年・学級等の取組み

○環境係の設置

・リサイクル箱と節電節水の管理・無言掃除の推進

○クリーンタイム(業間活動)

・業間に「クリーンタイム」を設定し、花壇や畑の草取
り、教室のロッカーの整理・整頓、窓ふき等の校内美
化活動を行っている。

○子どもまつり(1・2年 生活科)

近隣の保育園生を招待して「子どもまつり」を開催した。

(1年) 蛇が谷公園で秋に浸り「秋の宝物」集めを行った。

拾った自然物を利用しておもちゃや賞品を作成。

(図工の「クリスマス飾り作り」にも利用。)

(2年) 段ボールや空き箱、カップ、ペットボトル等の廃材
を利用しておもちゃや賞品を制作。

・片付け時に資源物の分別の仕方を指導し実践させた。

○水俣病についての学習 (5年)

・調べ学習・見学旅行での現地学習・水俣に学ぶ環境学習。

・人権集会で学習したことの発表。

○東部環境センターの環境ポスター・標語応募 (5年)

○「ブリジストンこどもエコ絵画コンクール」参加

・図工で「まもりたい自然」をテーマに作品を制作した。

(7) 職員の取組み

○職員環境宣言の実行と児童への宣言の周知徹底。

○紙の消費を抑えるための両面印刷と裏紙の使用の徹底。
両面コピー、縮小集約コピーの推進。

○資源物の分別、特に紙・プラスチックの分別回収の推進。

○資源物の回収場所の整理・整頓。

○玉名市の分別表に基づいたゴミの分別を周知・徹底。職
員室や資料室での分別収集箱、収集場所の設置。

○冷暖房設定温度の徹底。(扇風機による空気循環。)

○放課後の階段・トイレ・教室の扇風機・プロジェクター
等の消し忘れの確認。 ○再生紙購入・使用の励行。



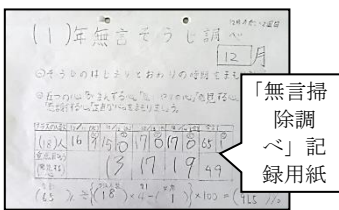
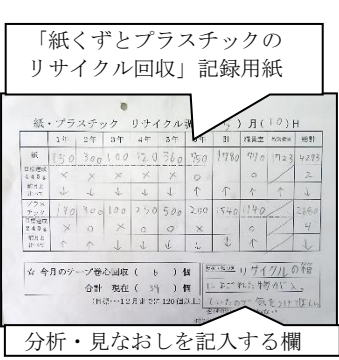
(8) PTA・地域の取組み

○資源回収・物品バザー

・地域全体に呼びかけ、新聞、雑誌、ペットボトル、空き
缶等の資源を回収、リサイクル活動に取り組んだ。高学
年児童にも参加させ、意識の向上を図っている。また、
家庭で不要な品物を物品バザーで売買した。

○学校整備ボランティア (PTA環境部)

・樹木の剪定や危険箇所の草取り、遊具のペンキ塗り替
え等行った。

<p>行動</p>	 <p>「ふるさとフェスタ」の昔遊び体験</p>  <p>新入生に贈られた牛乳パック製の鉛筆立て</p>	<p>(9)「エコライフ大浜 (EMの会)」との連携 ○寄贈されたEMぼかし液をトイレ掃除に活用している。</p> <p>(10) 老社会との連携 ○サツマイモの芋苗植え、芋掘り体験。(1・3年) ○「ふるさとフェスタ」を開催し、電気・プラスチック等を使用しない昔遊び(おはじき、竹馬、竹とんぼ、お手玉、押し花、竹細工、独楽等)の体験活動を行った。</p> <p>(11) JA婦人部との連携 ○不要なタオルで作った雑巾を学校に寄贈。</p> <p>(12) さわやかフレンズ(地域のボランティアグループ) ○新入学児童への牛乳パックで作った鉛筆立ての寄贈。</p>
<p>記録</p>	 <p>「無言掃除調べ」記録用紙</p>	<p>(1) 紙とプラスチックの回収量の記録 ○毎月ごとの回収量の記録・集計表を改良し、環境美化委員会の児童が現状分析を行っている。</p> <p>(2) 「無言掃除調べ週間」の記録 ○環境・美化委員会の児童が給食時に各学級をまわって記入、集計した。</p>
<p>見直し</p>	<p>「紙くずとプラスチックのリサイクル回収」記録用紙</p>  <p>分析・見なおしを記入する欄</p>	<p>○リサイクルの集計結果は、環境・美化委員会の児童が分析とふり返しを行い、毎月、目標に到達した学級や回収量の増加した学級等について放送や掲示物で全校児童に報告し、意欲喚起や取り組みの見直しを行っている。</p> <p>○紙は「切りくず」のリサイクルを行っているが、量を追求しすぎて、まだ使える物や本来は「形の整った紙」として分別すべき物、新聞紙までボックスに入れてしまうことがあった。そこで、放送や掲示の仕方を見なおし、「量の順位」ではなく、「目標が達成されたかどうか」を放送するようにした。また、その都度、違反のあった学級には美化委員からリサイクルの決まりを伝えて正しい分別を呼びかけた。</p>

2 成果と課題

成果	課題
<p>○各学級紙の回収量は1月現在で、計 22,431g、(月平均 415.4g)、昨年度実績の 24,000g (月平均 444g) に比べると、少し目標に達成できなかった。ただ、学級では、定型の紙は別の所に回収するよう呼びかけたため、分別意識が向上し減になったと思われる。教室以外の特別教室の紙切れは 19,443g で、昨年度 10,890g より大幅に回収することができた。</p> <p>○プラスチックの回収量は、1月現在で、計 14,270g (月平均 264.3g) で、昨年度実績の 12,820g (月平均 237g) 以上回収でき、目標を達成することができた。その他の特別教室等のプラスチックは、11,630g (昨年度 7,915g) で昨年度より大幅に回収することができた。</p> <p>○テープの巻心は昨年度実績 120 個以上を目標としたが、12月の応募〆切までに 159 個集めることができ、目標は大幅に達成できた。</p> <p>○節水は、過去 6 年間で最も節水できた。</p>	<p>●節電については、各教室エアコン導入により昨年度とは単純比較ができなかったため、本年度はグラフ化を行わなかったが、消費量で見ると前年度消費量を全体的に下回っており、目標は達成できた。ただ、7月のみ大幅増になっており、エアコンの使用が響いているようだ。エアコンの設定温度は冷房 28 度であるが、なかなか守れていない。「冷房時カーテンをする。」「あとぞきする。」など、設定温度を守れるように工夫をしたい。</p> <p>●資源回収時の分別の状況から、各家庭のリサイクルへの意識や分別回収の知識・関心にも差が大きい。学校からの家庭への啓発が必要である。</p> <p>●異動により、以前からの取組を知らない職員への周知が徹底しておらず、年度当初ごたごたした。「例年通り」「当たり前」と思われることも、年度初めにしっかり確認し周知徹底を図り、「チーム大浜」としての意識の向上を図るようにしたい。</p>